

## 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年 6月 23日

堺市長 殿

## 提出者

住 所 大阪府堺市西区石津西町14番地1

株式会社 栗本鐵工所 堀工場

氏 名 工場長 上辻 栄次

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-241-0225

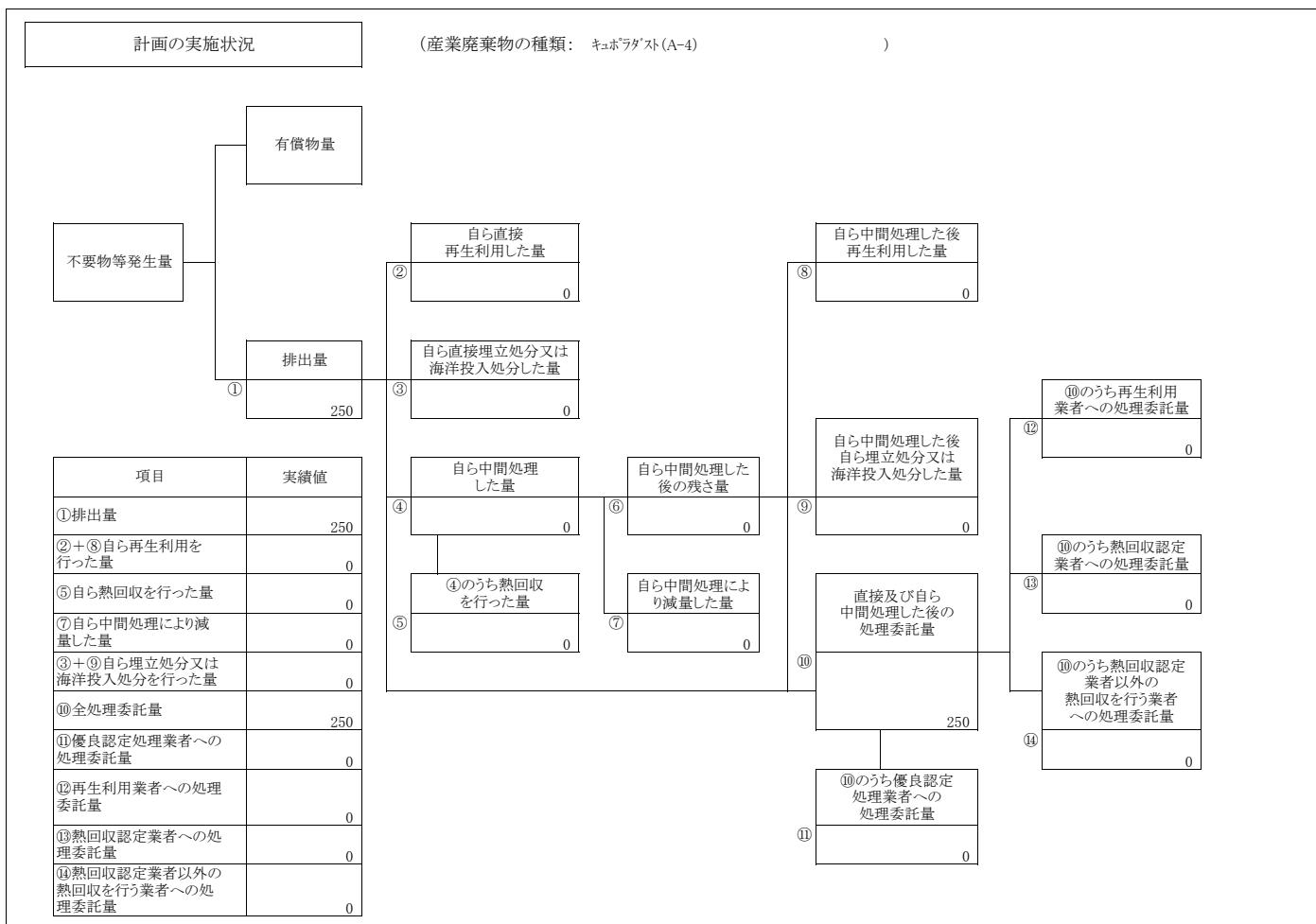
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、2023年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 栗本鐵工所 堀工場
事業場の所在地	堺市西区石津西町14番地1
事業の種類	22:鉄鋼業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

## 特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

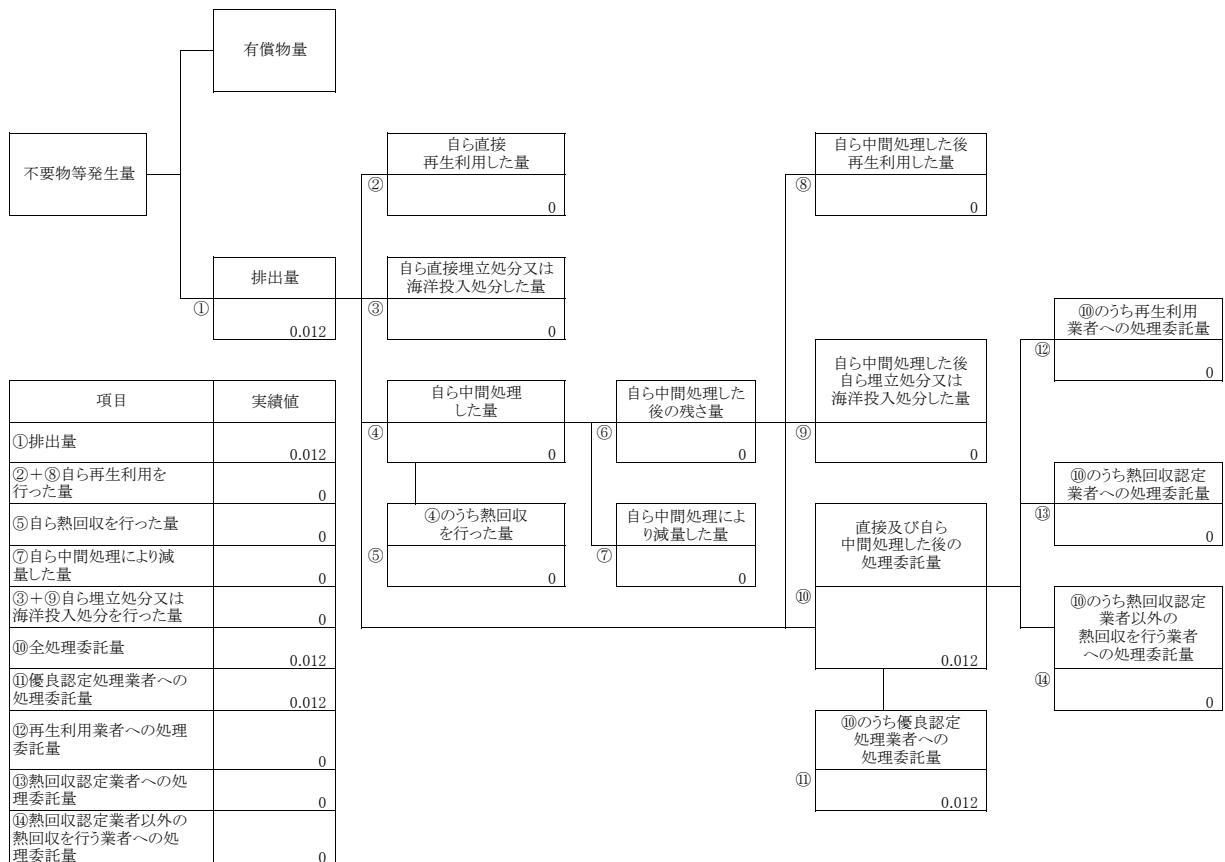
項目	目標値	項目	目標値
排出量	214.506 t	全処理委託量	214.506 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.026 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.026 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



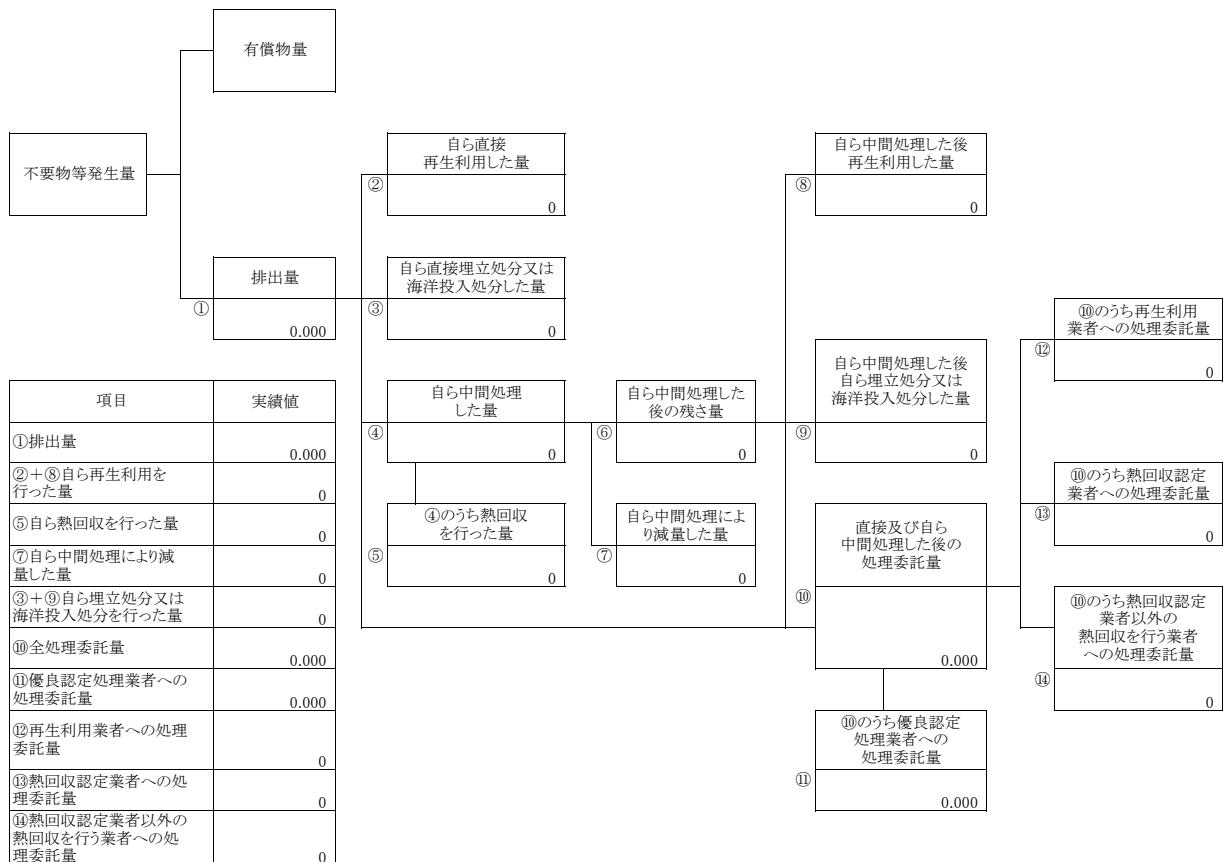
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 感染性廃棄物(A-36) )



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: キュボラ集塵機炉布(A-3))



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔別紙〕

提出者		担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を割別の に報告する旨立場の住所	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を割別の に報告する旨立場の住所	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

大阪府堺市西区石津西町14番地1

株式会社 菊木緑工所 塔工場

環境管理課

特別管理産業廃棄物の種類	仕事場の実態										(合計)=①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰	⑩+⑪ 自ら販売又は販入扱分又は海 洋投棄を行った量	⑬+⑭ 自ら再利用 扱いを行った量	
	①排出量	②自ら販賣 再生利用した量 (t)	③自ら直接埋立 料又は海洋投 棄分又は海洋投 入分にした量(t)	④自ら中間処理 熱回収を行った量 (t)	⑤自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑥自ら中間処理 した後再生利用 自ら埋立料又は海 洋投棄分にした量(t)	⑦自ら中間処理した後 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑧自ら及び自ら 他の事業者へ の販売量	⑨再生利用事業者への 販売量	⑩販売回収認定事業者 の販売回収量 (t)				
コード 参照 特別管理産業廃棄物の種類 の種類	発生した特別管理産業廃棄物の種類 の種類との重 なる利用した量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量	1の量のうち、中間 処理せざる自ら埋立料又 は海洋投棄分にした量		
1 7429 キスボラダスト(A-4)	249.800						249.800			249.800			0	0
2 7300 感染性廃棄物(A-36)	0.012						0.012			0.012			0	0
3 7429 エキス集塵機炉布(A- 3)	0.000						0.000			0.000			0	0
4													0	0
5													0	0
6													0	0
7													0	0
8													0	0
9													0	0
10													0	0
11													0	0
12													0	0
13													0	0
14													0	0
15													0	0
16													0	0
17													0	0
18													0	0
19													0	0
20													0	0
合計	249.812	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012	249.800	0	0.012	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。